

平成 28 年度事務事業評価表(一般事業・継続)

No. 434

事務事業名	法定外公共物維持管理事業
-------	--------------

作成日	平成 28 年 9 月 30 日		
部局名	都市整備部		
課名	道路課		
課長名	森 幸則	内線	427
担当者名	後藤 誉志	内線	427

基本目標		機能的で環境と調和したまち
政策	050201	道路網の整備と公共交通の利便性の向上
施策		道路網の整備
関連施策		

会計	一般		
款	8	土木費	
項	2	道路橋りょう費	
目	2	道路維持費	
事業コード	030000		

事業類型	3	施設維持管理(補修)事業(義務)
個別計画		
重点事業		

【PLAN(計画)】

対象(者) 誰(何)に対して事業を行うか	法定外公共物(里道・水路)		
意図 対象をどのような状態にしたいか	法定外公共物(里道・水路)の機能確保を図る。		
事業概要 意図を達成するために実施することは何か	法定外公共物の維持管理は、利用者である地域住民で行なうことを原則としており、原材料支給を行う。また災害時の崩落など危険な状態が発生し、緊急を要する箇所については市が必要な措置を行う。		
事業期間	平成 16 年度 ~ 平成 年度	実施方法	直営、委託
根拠法令、要綱等	大村市法定外公共物管理条例		
国・県補助事業に係る本市単独施策	無		

【DO(実施)】

指標名(上段:名称/下段:算定式等)		単位	25年度	26年度	27年度	28年度	備考
活動指標 ①	修繕箇所数	計画値	12				※H26から成果指標等の見直しのため、②の活動指標に移行する。H28計画値:過去3か年の1件あたりの単価(修繕料)/H28予算額(修繕料)+過去3か年の1件あたりの単価(材料費)/H28予算額(材料費)
		実績値	11				
		達成度	91.7%				
活動指標 ②	修繕箇所数及び原材料支給箇所数	計画値		25	26	24	
		実績値		18	20		
		達成度		72.0%	76.9%		
成果指標 ①	修繕件数(修繕基準対象)	計画値	11				※現在の修繕基準対象の要望箇所については、100%対応出来ているため、H26からは、②の成果指標に移行する。(現在の修繕及び材料支給基準に対する成果)
		実績値	11				
	要望箇所(修繕基準対象)に対し対応できた箇所数(修繕箇所数/修繕対象要望箇所数)	計画値					
		達成度	100.0%				
成果指標 ②	要望件数(修繕要望箇所+原材料支給要望箇所)	計画値		19	21		
		実績値		18	20		
	要望箇所に対し対応できた箇所数(修繕基準対象修繕箇所数+原材料基準対象支給箇所/要望箇所数)	達成度		94.7%	95.2%		

年 度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	全体計画
① 事業費(千円)	4,158	4,137	4,140	6,914	4,241	4,241	4,241	0
国庫支出金								
県支出金								
地方債								
その他	229	229	196	196	219	219	219	
一般財源	3,929	3,908	3,944	6,718	4,022	4,022	4,022	
② 人件費(千円)	5,180	4,972	4,876	4,927	事業内容	事業内容	事業内容	備考
職員人数(人)	0.65	0.65	0.65	0.65				
時間外勤務(時間)	7	30	146	100				
嘱託等人数(人)								
フルコスト(①+②千円)	9,338	9,109	9,016	11,841				

※財源内訳中の「その他」には、保険料・寄付金・基金・利用料等の収入を記入しています。

【CHECK(評価)】

事業の進捗状況 昨年度の評価から、どのような取組をしましたか(昨年度の【ACTION】の改善・改革の進捗等)	現在の修繕基準対象の要望箇所については、100%対応できた。
事業が抱える問題・課題等	

妥当性	【必要性】	高い	やや高い	やや低い	低い	該当なし	
	【市の関与】	高い	やや高い	やや低い	低い	該当なし	
有効性	【事業成果】	高い	やや高い	やや低い	低い	該当なし	
	【施策貢献度】	高い	やや高い	やや低い	低い	該当なし	
効率性	【コスト】	削減の余地なし		削減の余地あり		該当なし	
	【負担割合】	見直しの余地なし		見直しの余地あり		該当なし	
公共工事コスト縮減対策に基づき、コスト縮減に努めている。  法定外公共物は機能管理上整備が必要な箇所については、原材料支給を原則とするが、災害等により緊急に措置する必要がある場合は市で対応する。							

※事業類型が1～3に該当する事業については妥当性及び有効性の評価は記入しておりません。

【ACTION(改善・改革)】

今後の方向性	現状維持	
--------	------	--

内容 今後の方向性のもとで、どのような取組をするか(課題や問題点等に対する取組など)	法定外公共物は地域住民の生活に密着しており、公共物としての機能を維持・管理していくことが必要であるため、このまま事業を継続したい。
効果 事業の改善・改革によって期待される効果は何か	

1次評価	今後の方向性	担当者意見のとおり		2次評価	対象外	今後の方向性
	終期設定				終期設定	
	意見等				内容	

※1次評価は事業担当課長等、2次評価は2次評価委員会によって行われます。